

産総研と地域企業

産業振興で連携

光ファイバー装置開発

精工技研

機能一体化

スマートフォンや無線LANは、世界中で爆発的に普及しており、近年は、携帯情報端末やIoT機器には無線通信機能搭載が必須である。一般に、これらの機器に内蔵される高周波部品の入出力特性やアンテナの送信・受信特性は、被測定部品

双方向で高周波信号伝送

「精密」光学にこだわった製品開発を進め、精密金型関連、光学製品関連へ事業を展開し

やアンテナと測定装置を同軸ケーブルで接続する。同軸ケーブルを代替するため、精工技研の光伝送技術と産

業技術総合研究所の精密計測技術により電気変換の機能を一体化した光モジュールを共同開発した。この装置は、

また低消費電力化にも取り組み、スマートあるベクトルネットワーク

さらに、VNAのフルポート校正機能を用いると、今回開発した装置や光ファイバーケーブルの周波数特性を補正でき、より正確に測定できる。光ファイバーケーブルでは、

国際標準化

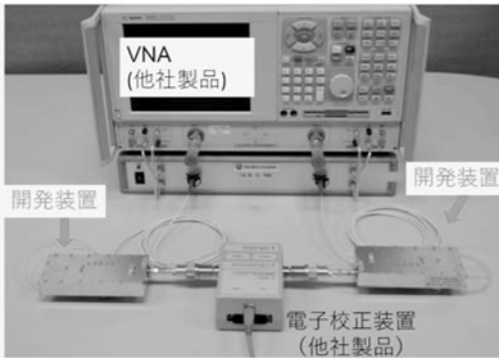
産総研物理計測標準
研究部門電磁界標準
研究グループ長

黒川 悟

一言メッセージ

精工技研の豊富な光ファイバー技術と、産総研のアンテナなどの精密評価技術が融合し、電波を用いた製品の開発に利用できた。今後も世界をリードする光ファイバー技術を用いた製品を開発していただきたい。

高周波測定



開発装置

電子校正装置 (他社製品)

「精密」光学にこだわった製品開発を進め、精密金型関連、光学製品関連へ事業を展開し、同軸ケーブルを代替するため、精工技研の光伝送技術と産業技術総合研究所の精密計測技術により電気変換の機能を一体化した光モジュールを共同開発した。この装置は、また低消費電力化にも取り組み、スマートあるベクトルネットワーク

さらに、VNAのフルポート校正機能を用いると、今回開発した装置や光ファイバーケーブルの周波数特性を補正でき、より正確に測定できる。光ファイバーケーブルでは、

また、精工技研と産総研は国際標準化活動にも取り組んでいる。鳥羽良和 (木曜日) 掲載